

製品名: ERBB3 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80675

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	ERBB3
別名	HER3; LCCS2
遺伝子 ID	2065.0
SwissProt ID	P21860
免疫原	大腸菌で発現した ERBB3 (aa1175-1275) の精製された組み換え断片。

背景

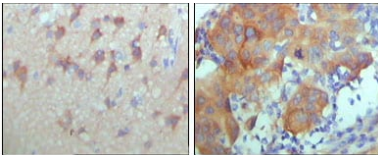
ERBB3: v-erb-b2 赤芽球性白血病ウイルス癌遺伝子ホモログ 3 (鳥類)。この遺伝子は、上皮成長因子受容体 (EGFR) ファミリーの受容体チロシンキナーゼのメンバーをコードしています。この膜結合タンパク質は、ニューレグリン結合ドメインを有しますが、活

性キナーゼドメインは有しません。そのため、このリガンドに結合することはできませんが、タンパク質リン酸化を介して細胞内にシグナルを伝達することはできません。しかし、キナーゼ活性を持つ他の EGF 受容体ファミリーメンバーとヘテロ二量体を形成します。ヘテロ二量体形成は、細胞増殖または分化につながる経路の活性化につながります。この遺伝子の増幅および/またはタンパク質の過剰発現は、前立腺がん、膀胱がん、乳がんなど、多くのがんにおいて報告されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。1つのアイソフォームは膜間領域を欠き、細胞外に分泌されます。この形態は膜結合型の活性を調節する働きをする。追加のスプライスバリエントも報告されているが、それらは十分に特徴づけられていない。

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト大脳 (左) および乳癌組織 (右) の免疫組織化学分析。ERBB3 マウス mAb を使用した DAB 染色による細胞質および膜の位置を示しています。